

川崎市SOSの 出し方・受け止め方教育

「川崎市SOSの出し方・受け止め方教育」は、児童生徒が、様々な困難に対処できる心のもち方や自分も他人も大切にできる人間関係のつくり方を身に付けるために、自分の心を見つめ、どのようなときに心に痛みを感じるのかを知り、自分の困りごとをSOSとして友達や大人に伝えたり、友達からのSOSを受け止めたりすることの大切さを学習するものです。

「かわさき共生＊共育プログラム」とは？

川崎市では平成22(2010)年度から、全市立小・中学校にて(特別支援学校・高等学校は実情に応じて)「かわさき共生＊共育プログラム」を実施し、お互いを認め合うことができる「社会性」を育むことを目指しています。



SOSを出すことは、様々な問題を解決していくために必要な力です。
SOSを出しても大丈夫です。心の傷や痛みを感じた時には「大丈夫?」と自分自身に言葉をかけ、その傷や痛みを周りの大人の私たちに伝えてください。



SOSの出し方・受け止め方教育の授業の様子。自分がどのようなことにストレスを感じるのか、どのように対処するとよいかを話し合いました。

ストレスを抱えたときには、自分の好きなこと、レジリエンスが支えになることを知り、自分と向き合っていくことの大切さに気がきました。また、友達の対処の仕方も参考にしていきたいなと思いました。



SOSを受け止める「受容傾聴の姿勢」

日常生活の困りごとや不安感を受け止める際に、大切なことは「受容傾聴の姿勢」です。相手の話をよく聴いて感情を共有することや子ども自身が考えられるように促すことで、子どもの自尊感情の高まりにつながっていきます。

「受容傾聴」のポイント

- ☑ ありのままに受け止める
- ☑ オウム返しをする(否定しない)
- ☑ アドバイスはしない
- ☑ 勝手に想像はしない(決めつけない)
- ☑ 子どもの情景を見させてもらう



職員研修で「受容傾聴」のポイントを学ぶ様子

子どもから話を聴く姿勢について振り返りました。子どもの成長を信じ、一人ひとりに丁寧に向き合っていきたいです。



相談はこちらへ

川崎市では、育児や家族、自分自身の不安や悩みなどのこころの健康について相談できる専門機関や相談窓口が整備されています。

こころの電話相談
(総合リハビリテーション推進センター) 044-246-6742 / [毎日]9:00~21:00
※年末年始(12/29~1/3)9:00~17:00
川崎いのちの電話 044-733-4343 / 365日 24時間
自殺予防いのちの電話 0120-783-556 / [毎月10日]8:00~翌8:00

お問合せは ▶▶▶ | 教育委員会事務局 教育政策室 | TEL:044-200-3068

多文化共生の輪を広げよう!

外国から、 川崎に来たよ! 日本語をどうやって 学ぶの?

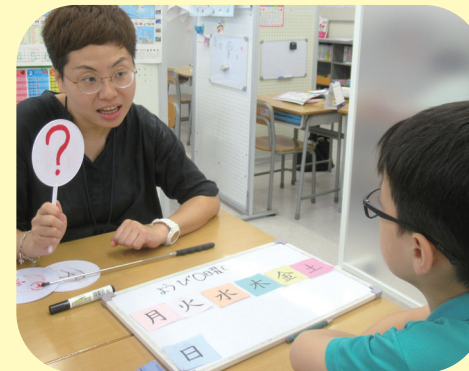
フィリピンの学校で勉強していたよ!



日本語指導初期支援でサポートしています!

一人ひとりに合わせた支援を行っています。

日本語指導初期支援員が、週に2~4時間、合計100時間、子どもの母語などを使って、支援します。学校生活に慣れるための支援を受けながら、日本語を基礎から学んでいます。



日本語指導

日本語指導初期支援と並行して、教員による「日本語指導」を行っています。日本語指導では、教科につながる支援を行い、学習に取り組むための力の育成を目指しています。

フィリピン語も日本語も話せるよ!



감사합니다

Bagus

मज़ा

नमस्ते

Gracias

Salamat

Thank you

いいね

Spaß

Magandang hapon

Good job!

Cảm ơn

admirável

ສຸກ

快樂的

Bonjour

たのしい

Är du okej

お問合せは ▶▶▶ | 教育委員会事務局 教育政策室 | TEL:044-200-3758